



備えあれば憂いなし

帯広市の防災

災害はいつ起こるかわかりません。日ごろから災害に備えましょう。

問い合わせ 総務課 (市庁舎5階、☎65・4103)

近年、毎年のように全国で大雨による災害が発生し、帯広市でも平成28年に台風10号が接近した際には、河川の氾濫や堤防の決壊、道路・鉄道の寸断のほか、住宅地や畑の冠水など大きな被害が発生しました。また、地震などの災害もいつ起こるかわかりません。

自助 (Self-help)

防災・減災のためには、自らの命は自ら守る「自助」が大切です。日ごろからできること、災害時にできることを確認しましょう。

非常持ち出し品の準備

災害時に被災地へ救援物資が届くには数日かかります。災害発生後、食料や生活必需品などすぐに必要となるものは、日ごろから備え、玄関などすぐに持ち出せる場

表 非常持ち出し品リスト

- ペットボトル飲料水 (500ml×6本、大人1人当たりの目安)
 - 常備薬・持病薬など
 - 携帯ラジオ
 - 懐中電灯
 - 電池
 - モバイルバッテリー・充電器
 - 缶入り乾パンなど非常食
 - ろうそく・ライター
 - 万能ハサミ
 - 軍手・手袋
 - ロープ
 - 毛抜き
 - 消毒薬
 - 脱脂綿・ガーゼ
 - 絆創膏・包帯
 - サバイバルブランケット
 - 三角巾
 - マスク
 - レジャーシート
 - 簡易トイレ
 - タオル
 - ポリ袋
 - トイレ用ペーパー
 - ウエットティッシュ
 - ガムテープ(布製)
 - 油性マジック
 - 筆記用具
 - 現金(10円玉)(公衆電話用)
- 下記については個々の事情によって必要性が異なります
- 貴重品類
 - 女性用品
 - 高齢者用品
 - 赤ちゃん用品

これらは避難時にすぐに持ち出すべき、必要最小限の備えで被災時・非常時の最初の日をしのぐための物品です。

地域でできること (共助)

また、災害時は「デマ情報」も多く発生するため、情報源をしっかり確認することも大切です。

自主防災組織をつくりましょう

災害時は、地域で助け合う「共助」が欠かせません。町内会の日ごろのつながりが、迅速な安否確認や避難誘導などに結び付きます。市では、連合町内会や町内会を主体とした「自主防災組織」が取

所に置いておきましょう。(表)

情報収集は複数の手段で

災害時は、正しい情報を正確に素早く入手することが重要です。テレビ、ラジオ、広報車、ホームページ、スマートフォンなど複数の手段を使って、より早く情報入手しましょう。(図)

自主防災倉庫を確認

地域の防災活動を効率よく実施するため、市内すべての指定避難所に自主防災倉庫を設置しています。災害時に有効に使えるよう、日ごろから場所や中身について確認しておきましょう。



自主防災倉庫(市内52カ所に設置)

防災出前講座

市では、町内会や団体などの依頼に応じて、市職員などが訪問する防災出前講座、親子を対象にした親子防災講座を行っています。講座では、地震や水害への備えについての話や、地域の特性に合わせた避難方法などの説明、消防と連携した水消火器訓練など、希望の内容に応じて実施します。希望者は総務課に申し込みください。



▲市ホームページ

帯広 防災 検索

●水害情報の伝え方が変わります

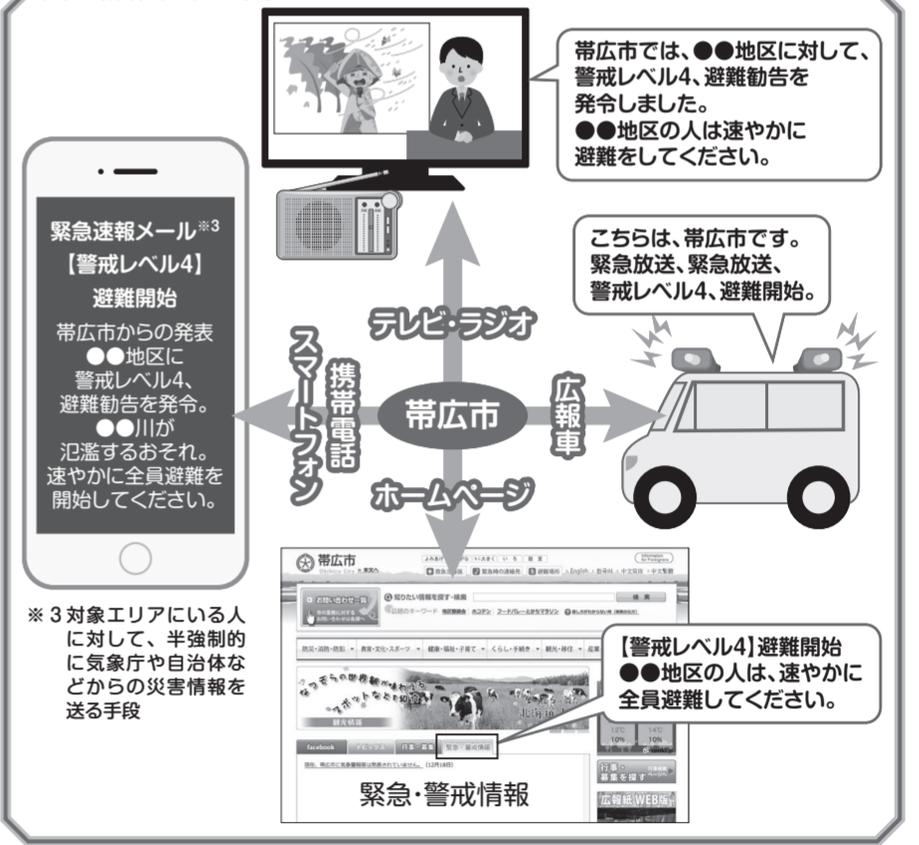
警戒レベルの導入について

今年度より、避難情報と避難行動の種類を理解しやすいように、防災情報を5段階^{*1}に分けた「警戒レベル」によりお知らせします。それぞれのレベルに応じた避難行動などを事前に確認しておきましょう。

警戒レベル	避難行動など	避難情報など
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとります。	災害発生情報 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令(市町村が発令)
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示(緊急) ^{*2} 避難勧告 ^{*2} 地域の状況に応じて、緊急的または重ねて避難を促す場合などに発令(市町村が発令)
警戒レベル3 高齢者などは避難	避難に時間を要する人(高齢者、障害のある人、乳幼児など)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始(市町村が発令)
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報・大雨注意報など(気象庁が発令)
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報(気象庁が発令)

*1 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

図 情報収集の手段



地域防災訓練を開催します

帯広市は災害時に一人一人が迅速・適切に対応できるよう住民参加型の訓練を実施しています。今年度は、鉄南地区連合町内会、緑栄連合町内会と共催で地震を想定した訓練を行います。対象の町内会以外からの参加も可能です。希望者は、総務課へ申し込みください。



昨年度の給水訓練の様子

日時：8月25日(日)、9時～13時 場所：第四中学校(西5南25)

防災活動に取り組む地域の声

* 広陵連合町内会の防災訓練取材してきました！ *

広陵連合町内会は、広いエリアを三つに分けて、住民が参加・体験しやすい規模で毎年防災訓練を行っています。古澤会長は、「小規模だからこそできる訓練も大切。訓練以外にもセミナーや避難所運営ゲームの体験などを通して、防災意識が高まれば」と話していました。

